

No.22

平成30年5月

防府市文化協会だより

防府市文化協会

(防府市文化財郷土資料館3F)

TEL/FAX 26-6841



春日太鼓披露



給食



記念撮影



ダンス交流



牟礼中学校よりお礼の花束



お別れ



防府天満宮にて
おみくじひいたよ



角中社中の皆さまによる抹茶のおもてなし



平成30年2月16日(金)セルビアローラ民族音楽舞踊団が来日され、文化交流をしました。

創立二十周年を迎えて

防府市文化協会 会長 岡本 早智子



今年度、防府市文化協会は創立二十周年を迎えて、この節目にあたり、次のような記念事業を進めているところです。

一、二十周年記念総会・記念祭の開催

期日 平成三十年六月二十三日(土)

会場 アスピラート(三階音楽ホール)

(他)

二、記念誌の刊行・配布

(一) 『防府市文化協会20年のあゆみ』平成三十一年三月刊行予定、出来次第配布)

(二) 『防府が生んだ自由律俳人山頭火』(改訂版・平成三十年五月刊行、以後配布等)

(三) 『防府の民俗芸能をたずねて』(改訂版・平成三十年五月刊行、六月から配布)

以上の記念事業を、当会常任理事会に記念事業実行委員会の任務を担っていたとき、また、理事会では、実行上の諸助言をいただきながら進めています。勿論、防府市からは、これらの事業に対する補助金をいただき、物心両面からご支援をいただいているところです。

役員はもとより、会員のみなさまも、ご多忙のことは存じますが、これらの記念事業へのご協力を、よろしくお願いいたします。是非、成功させて、当会の目的ともなっていますが、「防府市民の自主的な文化活動を更に促進し、心豊かで薫り高い文化に富んだまちづくりへの貢献」を進めてまいりましょう。

市民文化活動

支援事業部会報告

平成二十九年年度

○第一回支援事業部会

・五月二十五日(木)

・平成二十八年年度事業経過報告

・同収支決算報告 監査報告

・平成二十九年年度事業計画

・平成二十九年年度予算案

○支援事業部会会員

・加入社・個人 計三十一口

○第一回支援事業部会・審査会

・七月六日(木)

・助成金決定 三事業

(六十三万円)

〈助成対象事業〉

・防府天満宮お手廻り(奴)保存会

・防府民俗芸能連盟「西浦音頭」保存会
出演経費

・「語りつぐ藍と愛―襦袢・ぼろ展」

○第二回審査会

・十二月十四日(木)

・助成金決定 三事業

(四十万円)

〈助成対象事業〉

・秘すれば旅なり山頭火

・防府天神祭振興会30周年記念誌制作

・「防府の民俗芸能をたずねて」改訂版
の作成及び配付事業

・平成二十九年年度助成金合計

百三万円

第四十八回防府市民文化祭について 次世代につなぐ

事務局長 岡崎 久美子

「防府市民文化祭」をご存知ですか。防府市内在住及び在勤等の皆さまによる市民文化祭で、十月中旬から始まる盆栽展をかきわきりに、洋舞フェスティバル、ビデオ作品上映会、市民音楽祭、邦楽の会、華道展、市民茶会席、健康相談、美術展の順に開催。今回で四十八回を無事終えました。

山口県においては、二〇二〇年に開催される東京オリンピック・パラリンピックにむけ、県内の様々な文化資源を活用して、県内外に文化情報を発信し、更なる振興と交流人口の拡大につなげることを目標に掲げており、承認された事業に対して、「やまぐち文化プログラム協賛事業」として、県内外に情報を発信されることとなりました。

この度、防府市民文化祭も「やまぐち文化プログラム協賛事業」の一つに承認され、やまぐち文化プログラム情報誌「Cuer・ちゃ(かるつちや)やまぐち」にイベント情報として載せて頂くこととなりました。

毎年、各市民文化祭においては、主管となる連盟・会の皆さま方に実行委員会を立ち上げられ、各分野の企画・運営に早くから積極的に携わって頂き感謝申し上げます。お陰様で、今年も、全体で約五千五百人の方々がご来場下さいました。

防府市文化協会事務局に着任し十三年目になりますが、偶然にも皆さま方と同じ世代を歩み、文化・芸術に日ごろから研鑽を積んでおられる方々とのふれあいは、私にとつて、人生の大きな財産となっております。

しかしながら、現在、新しい文化・芸術団体・個人の方々が輩出される一方、生活の多様化した時代の流れの中で、会が増加傾向にあることも事実であります。

若い世代に各分野の文化・芸術活動をPRし、伝承に力を入れていかなければと危惧されておられる団体も多い中、各連盟・会の皆さまのたゆみないご努力のおかげにより、年々各分野において、子どもたちの参加も増えて来ている事は、未来への展望を感じ、感謝申し上げます。

今後、様々な課題を主管となる連盟・会の皆さま方にご示唆・ご鞭撻頂きながら、市民文化祭としてあるべき姿を共に模索しながら、途絶えることなく、六十回、七十回と後世に引き継がれていきますようお力添えをお願いしたいと存じます。たくさんの方々のご来場を心からお待ちしております。



寄付金贈呈式

平成二十九年十一月十日(金)

アスピラートにおいて、山本百次会子ども組より寄付金贈呈がありました。煎茶道三癸亭買茶流代表 國貞喜雲様より「子どもの頃から、防府市文化協会という文化・芸術を支援して下さる組織があることを知ってもらいたいと思い、今回の寄付贈呈にいたしました。今後、毎年夏に行っている子ども茶会から、寄付したいと考えております。」という暖かいお言葉をいただきました。

岡本会長より、「次世代を担う子どもたちのために使わせていただきます。」とお言葉を返され、未来を見据えた心強いお言葉に、防府市文化協会としても大変励みになりました。



県大会短歌大会

短歌を始めませんか

防府市民短歌会 久保 敬

短歌の入門講座生どころ講師の中川先生より「量の変化は、質の変化」と習いました。また防府市老連の岡本会長からは「続けていれば本物になれる。本物は続いている」という話も聞きました。どちらも継続することが上達の道であるとの示唆だと受け止めました。ただ、言うは易しで、未熟な私の経験ですが、常に刺激を受け続けることが必要だと考えます。

例えば近くの歌会に入り、締切りに追われながらも作り続ける。また仲間同士の批評による目覚め。或いは自分の歌がどの程度のものなのか、市報や新聞・雑誌、或いはNHK短歌などに投稿してみるなども役立ちます。

まずは近くの歌会に参加してみることだと思います。市内には「華浦短歌会」・「防府図書館短歌会」などがあります。分かり易く親切に指導される先生、歌評は厳しいがこれも切磋琢磨の頼もしく又優しい仲間の皆さんが、これから短歌を始められる皆さま方を大歓迎でお待ちしております。

中央の大結社もいいですが、身近に顔を合わせ、それぞれにあつた、きめ細かい指導を受けることができる地方の歌会こそ研鑽の早道だと確信しております。皆さん一緒に短歌を楽しみませんか。



防府史談会

防府の明治維新百五十年

防府史談会理事 窪田 耕二

防府市は萩市や下関市、山口市とともに、明治維新胎動の地として、歴史に大きな足跡を残しています。

今年、明治維新百五十年を機会に、吉田松陰、高杉晋作、久坂玄瑞、山田顕義、坂本竜馬をはじめ維新の志士たちが闊歩した、そして歌人野村望東尼終焉の地、防府市について考える機会です。

二百七十年の歴史の徳川幕府体制を改革する、第一歩は元治元年（1862）六月二十四日、のちに明治政府をになう二人の志士、伊藤博文、井上馨の富海上陸です。

その三年後の慶応元年八月二十六日、三田尻港のお船倉倉庫に大量の兵器が薩摩船胡蝶丸によって運び込まれます。四境戦争でこの兵器が何十倍の兵力の幕府軍を破ります。

そして、慶応三年（1867）十一月二十五日、長州軍の総大将毛利藤内、参謀楢取素彦、総指揮官山田顕義は、長門、周防から千二百人の長州兵を集結、鞠生松原の小島（こがらす）神社で必勝の祈りをささげ、向島の小田港から七艦の軍艦に乗船、京都、江戸に東上します。

防府天満宮、宮市、三田尻お茶屋（英雲荘）、三田尻海軍局（お船倉）、桑山や中関港、富海港、そして佐波川。

明治維新にゆかりの場所が数多く存在しており、その歴史を次代の人達に伝えていきたいものです。



英雲荘 大観楼

みつばち合唱団

防府の音楽発展に伴い

新たな旅立ち

代表 末富 孝代

みつばち合唱団は、2012年に誕生した18歳以下の子供を対象にした合唱団です。メンバーの殆どが華浦小出身のこともあり、普段の練習は、華浦小学校の養心館で行っています。練習の日は、小学生以下は毎週水曜日の16時から19時迄、中学生以上は土曜日の17時から19時迄です。現在メンバーは15名です。少人数を活かして、個人の才能や個性が発揮できるよう「独唱コンクール」や「アンサンブルコンテスト」にも積極的に挑戦しています。

昨年参加した独唱コンクールでは、参加した5年生6年生の5名全員が入賞、今年1月に出場したアンサンブルコンテストでは、銀賞を受賞しました。そして、今年の3月には防府アスピラート音楽ホールで、念願のコンサートを開催することができました。たくさんのお客様が聴きにきて下さり、とても素晴らしい経験をすることができました。地域のお祭りや福祉施設慰問のステージでは、聴いて下さる方々の気持ちに直接に伝わってきて、メンバーの子供たちにとっても貴重な体験となっています。今後も、子供たちが合唱を通じて世代の違う方々と歌うことの楽しさ、素晴らしさ、喜びを共有し、様々な所で歌う経験を積みながら、成長していける場を提供して参ります。



防長民謡会

民謡を唄いましょう

防長民謡会 会長 永田 玲秀

文化協会創立二十周年おめでとうございます。防長民謡会では一年を通してまず四月には、防府出身の作曲家大村能章先生の歌碑のある佐波神社にて桜の咲きほこる境内で「防府ばやし」を唄ったり日本の民謡も唄ったりしました。九月には山口県民謡コンクール大会を行ないました。民謡を競う大会です。十一月には防府市民文化祭で邦楽の会で発表します。毎日の唄う訓練を重ね、唄い手、三味線、尺八、鳴物が共鳴していいものが出来上がります。出演の場があることに感謝です。

今年六月に日本民謡の発表会、十月二十八日には『山口ゆめ花博』に出演です。

日本の心民謡をむづかしいと思わないで一緒に楽しんで唄いましょう。とても健康になりますよ。



牟礼フォークダンス同好会

皆で楽しんでます

会長 西山 晋

私たちの会は昭和五十五年、牟礼公民館のサークルとして誕生しました。毎月の例会日には世界中のいろいろな踊りを楽しんでいますが、一番大きな行事は洋舞フェスティバルに参加する事です。

防府市文化協会主催の洋舞フェスティバルへは十数年出場していますが、毎年洋舞の時期が近づくとき会の中が騒がしくなります。

フォークダンスは「踊りを楽しむ」事が主体で、舞台用にはなっています。時々舞台用に構成されたものもありますが数が限られています。

「どんな踊りにしよう」の議論から始まり、次は、「構成はどうする」。「衣装はどれに」と、にぎやかになります。毎年くり返される光景ですが、みんなで和気あいあいと話し合って進めていく中で互いに連帯も深まっていきます。



山口県フォークダンス連盟

セルビアローラ民族音楽舞踊団

との交流事業について

理事長 西山 晋

昨年二月に「セルビアローラ民族音楽舞踊団が防府に来る。」と聞き、早速、防府市に交流事業を提案しました。ホストタウンとしてのセルビアとの友好はもとより、特に子ども達に、本物の民族舞踊を見せたい、国際交流に興味をもつてほしいとの思いからでした。

結果的には、素晴らしい国際交流の一日になったと大変嬉しく思っています。即ち、セルビアローラ民族音楽舞踊団のみなさんは、今年二月十六日に来訪され、まず、牟礼中学校で給食を共にした後、はじめに春日太鼓が披露され、体育館でダンスをおして生徒達との交流会に参加されました。時間が経つと次第に舞踊団員と生徒との距離が縮まり、最後には、一緒になつて大きな踊りの輪が出来ていました。

その後、向島運動公園にて、セルビア交流記念植樹を済ませて、防府天満宮・山頭火ふるさと館を見学、その途中では芳松庵での角中社中による抹茶の接待があり、座ること、大きな茶碗を抱えてお茶を飲む所作など、とても興味津々の様子でした。

夕方からの歓迎レセプションには、総勢百八十九名。防府市文化協会から五十名の御出席があり、吉冬貴の会より日本舞踊、上田流尺八道管友会より尺八演奏、そして浜子うたの御披露をいただき、セルビア舞踊団のみなさんは大変喜ばれました。お陰で次の日のアスピラートでの上演も、とても順調に進んだようです。

それにいたしましたも、この度の一連の行事は、防府市、防府市教育委員会、防府市文化協会、防府天満宮、そして実際に担当された学校や団体他、多くの皆様のご協力があったて実現したもので、改めて関係された皆様様に、心から感謝申し上げます。



防府歴史と考古学の会

生涯学習へのお誘い

会長 長野 嘉久

設立 一九八七年十月 主宰 防高桑原先生
目的 生涯学習「歴史を語り合い歴史を楽しく
学び、茶飲み友達の輪を作ろう。」

会員数 四十名(男女半々)

会費 月例会に出席毎に五百円

活動 例会は月一回・会報誌は 年一回発行

講演会 年三回開催・春秋に研修旅行

その他 適時に史跡めぐり等開催

月例会

日時 毎月第四土曜 一時半～四時

会場 防府市文化財郷土資料館二階
内容 講師による講義・古代史・日
本の言葉・郷土史・その他

会員の
活動内容

古墳めぐり、遺跡発掘、古事
記・万葉集古典、城めぐり、
城下町、大内文化、明治維新
(毛利氏) 日本人のルーツ、
稲や鉄のルーツ、仏教(仏
像・仏閣) 神道の発展、韓国
や中国の歴史、草原・オアシ
ス・海のシルクロード、自分
のルーツ(家系図・家紋) 民
俗学(方言・風俗・民具)等
歴史を道楽にして、豊かな人生を
一緒に如何ですか。



防府茶道連盟

栄西禅師養生記とお茶のかかわり

煎茶道三葵亭賣茶流 國貞 喜美江

樹々が秋色に染まる十一月十日より十二日ま
での三日間アスピラートに於て市民文化茶会が
開催されました。秋日の好天気にも恵まれ三日間
で七一〇名のお客様をお迎え致しました日程は

十一月十日(金曜日) 煎茶道三葵亭賣茶流

十一月十一日(土曜日) 表流防和会

十一月十二日(日曜日) 裏千家淡交会山口支
部)

各流派による特色ある床のしつらえ、季節の花
に彩どられ雅味、雅趣に心休まる茶席の雰囲気
がそこはかと醸し出されていきました。

煎茶賣茶流の席作りとして、「松樹千年翠」
色紙に紅葉木と菊花に石を置き合せ二点の阿吽
形式の床飾りとなりました。

煎茶は中国から薬として伝わり当初は煎じる
薬として使われていた。栄西禅師(臨済宗の開
祖)が中国に二度の渡航で「茶種」と医学的
効能記の著書が発行され、茶
との関係の深い「喫茶養生記」
を発表された。一部を抜粋し
てみます。

「茶は養生の仙薬であり人々
の寿命を延ばすによい方法で
ある。茶の木が生える山谷は
神秘的靈妙の地であり、その
茶を飲む人は長生きする。」茶
席のお茶に限らず日常茶飯時
に於て、お茶を点てお茶を淹
れる人とお客様も一緒にハー
モニを奏でる場に安心を覚
えます最後に防府文化茶会に
関係の方々に厚くお礼申し上
げます。



K I M I E ダンススタジオ

元気で美しくダンシング

代表 徳本 喜美恵

文化協会創立二十周年おめでとうございま
す。私達K I M I Eダンススタジオも文化を高
める会からもう二十年以上が立ちました。

洋舞フェスティバルに出演させて頂き、大き
な舞台で踊れる喜びが、一年に一度の大きな目
標を目指して頑張っております。感謝です。

市民の方々に舞台を観て頂き「楽しかったね、
感動したね」と心を動かすような舞台が出来れ
ばとても嬉しいです。出演者もまた次年に向っ
て『ようし、がんばるぞ』の意気込みが伝わっ
てきます。『元気で美しく』を、モットーにレッ
スンを重ねてくると年令と共にいろいろと悩み
もありますが、身体を動かすことで発散も出来
ます。洋舞フェスティバルを節目としてまた一
段階段が登れるように十分な基礎レッスンから
土台作りをします。子供達
も反省の中に考えること
も出来、一歩一歩着実に前
進しています。

後進の育成はもちろん、
次世代に続いていくよう
に願いをこめて、勝間教
室・ソルトアリーナ・文福
でのレッスンをしております。
いますぐがスタートで
す。気軽にレッスン場に来
て一緒にたのしく身体を
動かしてみませんか？生
徒募集中です。



着物リメイク教室 Grupos

de Rosas の紹介

代表 吉武 志津恵

私たち着物リメイク教室 Grupos de Rosas (ぐるぼ) で、ろさす スペイン語でばらの会)は、市民教養講座「着物リメイク」の卒業生有志により昨年四月に発足したサークルです。

講座を卒業しても、家で洋服作りを続けるのはなかなか難しいものです。そこで皆で一緒に続けましょうということ、このサークルが立ち上がりました。気心の知れた会員同士、また講座の先生に引き続きご指導いただけることで、和気あいあいと洋服作りを楽しんでいます。

着物リメイクの魅力は、何といても世界で一つしかない洋服が出来ることです。自分の、両親の、祖父母の、親戚の等々いろいろな思い出の詰まった着物で作った洋服をまとうということは、とても幸せなことだと思います。

また、タンズに眠っている着物はいざれゴミになる可能性大であり、これを活用することでゴミの減量・資源の有効活用にチョッピリ役立っているのと小さな自己満足にも浸れます。

「もったいない精神」でこれからも続けていきたいと思っています。興味を持たれた方は参加されませんか。



自然の美しさを表現した自由花

山口県支部長 高橋 瑞峯

創流百周年を迎える二葉流のお花は、草花や木枝の自然の美しさを、各自の個性によって、自己表現できるいけばなで、型にあてはめるのではなく、花論によって自由に表現できる百姿百態のいけばなです。

防府市華道連盟に加盟していますので、連盟の行事には、生活年齢を重ねた少人数で対応しています。地場産春まつりいけばな展、秋の市民文化祭華道展、一年を通して献花奉仕している英雲荘の床活け等、昨年は明治維新百五十年関連で『毛利邸で和を愉しむ』ということ、いけばな展(床活け)に協力してきました。

その他、防府高校華道部の課外指導員として放課後生徒の指導に当たっています。年一回の文化祭が発表の場となるため、生徒教職員が一丸となって花展を盛り上げています。

また、JR大道駅の待合室には、駅舎通路完成時より挿花を続けており、駅を利用する人々及び他の方からも、楽しみにしていると好評を得ているところです。

この他に、私達の研修も不可欠で、年数回お家元を招いて勉強会も開催しています。

二葉流は、お家元が伊勢神宮に御献花されている関係で、その記念華展をアスピラートで開催したのも良い思い出です。細々でも末長く続けていくことで、二葉流を知っていただく機会になれば幸いです。



書の道は続く

書研・風信会 山田 梓江

昭和四十二年に、初代山田魯江により、書を研究したいという人に声をかけ、賛同した人が集まり書研・風信会が創設され、今年五十一年目を無事出発出来ました。会員も新旧の入れ替わりはあるものの、五十年継続している人も数名あり、書の魅力は何かと考えると、それは、追求することが無限大にあるからではないかと思えます。私達は古典から学ぶ漢字・かな文字、そして現代の文字、アートの前衛書など、あらゆる角度から見えて楽しめる事が出来るような知識を得ようと日々研鑽しています。専門分野しか解らないよりも多くのことが理解出来た方が人生楽しいに違いないと思っているからです。

昨年は第四十五回記念書道展ということもあり、全会員軸装にして日本文化の美しさを表現しました。全国に会員が在籍する書道芸術院の巡回展と併催となり、「アスピラート」「ルルサス」の二会場を使用しての展覧会でしたが、お陰様で全国各方面からのご来場者もあって、防府のピーアールをしっかりとっておきました。

今年も「アスピラート」で心を新たに、四月初旬に書研・風信会書道を開催しております。書の文化が永遠に続くことを祈って。

※写真は飾りつけが終り翌日から書展を待つている静寂なひとときです。



平成29年度
団体会員

〈文芸〉 9団体

- 。初めての自由律俳句の会みもぎ
- 。防府詩の会
- 。防府市民文芸自由律俳句の会
- 。防府市民短歌会
- 。防府市市民川柳会
- 。自由律句講座
- 。防府市俳句協会
- 。文化サークル爛銀
- 。山頭火ふるさと会

〈美術〉 28団体

- 。書研・風信会
- 。ほうふ水彩画倶楽部
- 。書道塾 茜雲会
- 。すずらん会
- 。書の学習会
- 。防府市書道連盟
- 。スケッチサークル十色会
- 。アトリエ 8
- 。書友会
- 。絵手紙同好会
- 。鎌倉彫同好会
- 。鎌倉彫サークル
- 。西日本墨仙会
- 。さくらの会
- 。たんぼぼの会
- 。レザークラフトひまわり
- 。書研 鳩山書院
- 。絵手紙 楽の会
- 。彫美会
- 。大溝書道会
- 。絵手紙 季の会
- 。遊の会
- 。防府市美術連盟
- 。面龍会

〈音楽〉 17団体

- 。藍と愛の会
- 。フォトフレンズ写真会
- 。花桜の会
- 。彫歩会
- 。サルビア・コール
- 。防府マンドリンギターアンサンブル
- 。オカリナ風華
- 。大正琴さんご樹
- 。防府市民合唱団
- 。コール・シオン
- 。大村能章顕彰会
- 。防府音楽協会
- 。リトおんClub
- 。防府音楽連盟
- 。山頭火讃歌隊
- 。日本クワイア協会山口支部
- 。堀江鴻とハワイアンドリームス
- 。防府吹奏楽団
- 。はちみつコーラス
- 。みつばち合唱団
- 。合唱組曲佐波川を歌う会

〈邦楽〉 28団体

- 。鴻峯吟詠防府朗吟会
- 。岳誠流日本吟道防府岳誠会
- 。日本舞踊花扇の会
- 。箏曲「雅会」
- 。古冬貴の会
- 。友貴の会
- 。みんよう華の会
- 。防長民謡会
- 。岳誠流防府岳誠会師範会
- 。茜屋出雲流 松姿会
- 。上田流尺八道管友会
- 。都山流尺八楽範山会
- 。都々美会

〈洋舞〉 23団体

- 。鷺朋吟詠会防府総支部
- 。茜屋出雲流 松賀会
- 。防府詩吟連合会
- 。都山流山口県支部松山会
- 。日本吟舞管光流管光会
- 。吟詠岳奨会
- 。萌えぎ会
- 。和歌会
- 。長宗閑祥会
- 。鶴千榮会
- 。千鶴の会
- 。茜屋出雲流 茜会
- 。浜子うた保存会
- 。防府邦楽舞踊連盟
- 。祐矢の会
- 。ホームヨーガ
- 。勝間社交ダンス同好会
- 。イズミ会
- 。ムーメント会
- 。龍華の会
- 。アロハ・フラ フレンド
- 。健康ヨーガ倶楽部
- 。牟礼フォークダンス同好会
- 。子どもフラ
- 。ウォーキングヨガ
- 。ルルベ
- 。フォークダンス研究会
- 。太極拳翠楊会
- 。大道リズムダンススク
- 。イクエ フラ PDC
- 。ヤエコ&リズムダンス
- 。防府ミュージカルキッズダンスアカデミー
- 。谷淑江 スペイン舞踊
- 。スタジオダンスサルテ
- 。カパークーカウイオ
- 。クウブアレファ
- 。ティアラ・バレエアート

〈生活文化〉 32団体

- 。着物メイク教室Group de Rosas
- 。柴山古流清風会
- 。専心池坊山口県中部支部
- 。華道家元池坊防府支部
- 。茶道裏千家淡交会
- 。山口支部
- 。衣服のリフォーム
- 。洋裁
- 。さくらんぼ
- 。大道盆栽会
- 。花供養あじさい会
- 。オレンジ
- 。(財)小原流防府支部
- 。萌の会
- 。煎茶道三笑亭賣茶流
- 。草月流新光会
- 。日本礼道小笠原流煎茶防府支部
- 。専心小笠原流煎茶防府支部
- 。山口市・防府市いけばな連合会
- 。若葉会
- 。表流防和会
- 。小原流華城地区伝統文化いけばな親子教室
- 。防府市華道連盟

〈映画〉 1団体

- 。防府映像サークル

〈歴史〉 3団体

- 。上山満之進に学ぶ会
- 。防府野村望東尼会
- 。防府史談会

〈民俗芸能〉 5団体

- 。中関塩浜唄の会
- 。防府民俗芸能連盟
- 。古典芸能南京玉すだれ山口保存会
- 。国府の節保存会
- 。笑い講

〈福祉〉 4団体

- 。新田地区社会福祉協
- 。防府中央ライオンズクラブ
- 。防府ライオンズクラブ
- 。華浦地区社会福祉協議会

〈学術〉 9団体

- 。ホーリー会
- 。夢デザイン塾
- 。日本郵趣協会防府支部
- 。山口県退職公務員連盟防府支部
- 。牟礼校区こども会
- 。防府市退職校長会
- 。ふるさと大道を掘り起こす会
- 。防府市老人クラブ連合会
- 。防府天満宮

合計159団体

平成29年度
個人会員

- 邦楽
小林 範山
若柳 吉豊
若柳 吉生
村山 幸子
若柳 貴華
藤本 裕華
中村 千秋
中村 吉太
吉柳 真由美
吉武 真由美
中村 美香
若柳 貴香
水岡 里絵
吉武 慶江
橋本 鈴江
阿部 美幸
井関 洪彬
原田 吉勇
若柳 貴吉
花柳 扇千鶴
竹尾 耶衣子
谷 博子
文芸
佐藤 文彌
久保 敬
門田 和子
窪田 耕二
羽田 征子
藤野 悦子
西野 平子
河野 悦平
新山 王
藤井 弘一
石井 弘一
齋藤 知至
吉川 知至
岡本 早智子
岡本 嘉久
長野 嘉久
文化協
松村 由子
坪郷 久栄
岡田 利雄
一般
藤井 雄隆
米村 真一郎
末富 真一郎
美術
佐古 淳子
福社
高森 哲郎
合計44名

平成29年度
市民文化活動支援
事業部会会員

- 防府市長 松浦 正人
防府市教育委員会 教育長 杉山 一茂
防府商工会議所会頭 喜多村 誠
(株)土井工務店 土井 英徳
防府市工務局 大西 徹
防府市土木課 降矢 順治
防府市建設課 岡村 幹男
防府市上下水道課 羽嶋 等
(株)ロータリーコーポレーション 万野龍之介
山口工材(株) 古松 孝蔵
(医)杉桑会杉山内科小児科医院 杉山 知行
防府とくち農業協同組合 立石 昭生
藤本工業(株) 藤本 利範
防府天満宮 鈴木 宏明
東山口信用金庫 嶋本 博
山陽建設工業(株) 塩田津多子
山根事務所 山根 健規
澤田建設(株) 澤田 健規
(株)カキタ徳山支店 半田 孝弘
齊藤段ボール(株) 小松 宗介
鰐石歯科医院 鰐石 洋己
松本クリニック 松本 正
山口県議会議員 渋谷 正
(有)シヤ薬局 藤澤 慎一
大村印刷株式会社 藤澤 慎一
(株)原工務店 原 孝夫
医療法人 博愛会 理事長 原 孝夫
防府市役所 萩田 幹夫
防府市文化協会の会 深田 慎治
支援事業部会長昇陽堂薬局 岡本早智子
合計31名

平成三十年度事業計画

- 六月二十三日(土) 文化協会 総会・記念祭 (アスペリット)
- 七月十四日(土) 市民自由律俳句大会
- 九月二日(日) 市民俳句大会
- 十月七日(日) 市民短歌大会
- 十月十四日(日) 市民川柳大会
- 十月十三日(土) 市民文化祭
- 十月十四日(日) 市民文化祭
- 十月二十一日(日) 市民文化祭
- 十月二十一日(日) ビデオ作品上映会
- 十月二十一日(日) 市民文化祭
- 十月二十八日(日) 洋舞フェスティバル
- 十一月四日(日) 市民音楽祭
- 十一月四日(日) 市民文化祭
- 十一月十六日(金) 邦楽の会
- 十一月十八日(日) 市民文化祭
- 十二月五日(水) 市民文化祭
- 十二月九日(日) 第六十八回市美術展
- 華道展
- 市民茶会席
- 健康相談

平成30年度 防府市文化協会役員

○=常任理事

役職	氏名	選出母体
顧問	岡田 利雄	名誉会員
会長	岡本早智子	防府野村望東尼会
副会長	小林 範山	防府邦楽舞踊連盟
副会長	竹尾耶衣子	ヤエコ&リズム
監事	坪郷 久榮	個人会員
監事	清澄 邦夫	防府映像サークル
○常任理事	理事	選出母体
○	佐藤 文彌	防府詩の会
○	山田 如仙	西日本墨仙会
	佐古 淳子	防府市美術連盟
	藤井 三男	フォトフレンズ写意
○	石川 功	防府音楽連盟
	竹内 亮	防府市民合唱団
○	若柳吉冬貴	吉冬貴の会
	中尾 岳奨	防府邦楽舞踊連盟
	花柳扇千鶴	千鶴の会

○常任理事	理事	選出母体
	徳本喜美恵	ルルベ
新	田村 梨乃	ティアラ・バレエアート
新	羽嶋 貞子	防府市華道連盟
○新	河内山厚子	防府茶道連盟
○	桑原 一朗	防府民俗芸能連盟
○	坪郷 好夫	華浦地区社会福祉協議会
○	斎藤 智	日日本郵趣協会防府支部
○	窪田 耕二	個人会員
	中川 栄治	小学校長会
○新	前原 隆志	中学校長会
○	深田 慎治	昇陽堂薬局
	鈴木 宏明	防府天満宮
	新原 耕由	防府青年会議所
○	杉江 純一	総合政策部文化・スポーツ課長
	湯面 栄二	(公財)防府市文化振興財団地域交流センター館長

事務局 岡崎久美子

文化協会会員募集

防府市文化協会は、みなさんの文化・芸術に関する発表事業及び研究・顕彰・啓発事業のお手伝いをする団体です。

《年会費》

- 団体会員 (第一号会員) 三千元
- 個人会員 (第二号会員) 千五百円

《会員の特典》

- *個人会員
 - ① 年一回の主催事業への無料招待及び割引招待
- *団体会員
 - ① 加入団体の各種行事に対する文化協会の共催・後援
 - ② 文化福祉会館・公民館の施設(文化福祉会館大会議室を除く) 月一回一区分無料利用

ただし、電気代等実費利用分は有料となりますので、申し込まれる時に必ず各施設にご確認ください。

《入会方法》

「入会申込書」に会費を添えて文化協会事務局へ。なお、団体会員については、会員名簿(氏名のみ)を必ず添付してください。

《期限》

年度の4/1～翌3/31までの1年間(年度ごと更新)

《問合せ》

防府市文化協会事務局 (防府市文化財郷土資料館三階) (TEL/FAX:二二六-八八四一) ※申込書は、市文化・スポーツ課のホームページからダウンロードできます。

編集

- 委員長 窪田 耕二
- 委員 竹尾耶衣子
- ” 佐藤 文彌
- ” 高橋 瑞峯

発行

千七四七-〇八〇八
防府市桑山二丁目一
防府市文化財郷土資料館
三階 防府市文化協会
TEL/FAX〇八三五
(二六) 六八四一
平成三十年五月

編集後記



防府市はその歴史の豊かさと共に文化あふれる地域でもありました。特に明治になってからは絵画、詩歌、和歌や俳句も盛んで種田山頭火をはじめ、多くの文人、画家、音楽家を輩出してきています。昭和四十五年、それらの文化継承、振興を目的として防府の文化を高める会が創設され、平成十年には、発展的に(公財)防府市文化振興財団と共に防府市文化協会が発足、今年は記念すべき二十周年を迎えることになりました。先人の思いを今後の活動に生かしていきたいものです。